

分野5広報活動とHPCI広報連携

HPCI戦略プログラム分野5全体シンポジウム
(2014年3月5日)

筑波大CCS 吉戸智明
KEK 入江敦子
筑波大CCS 矢部あずさ

分野5の広報活動

ウェブマガジン「月刊JICFuS」 「月刊JICFuSムービー」

Getting to the Heart of Matter

Visiting Italian researcher is seeking to understand what keeps quarks in confinement



Guido Cossu Post-doc researcher at KEK, Tsukuba

Just one month after obtaining his PhD in quantum

chromodynamics (QCD) from Italy, Guido Cossu was on his way to carry out post-doctoral work in a research group. That was the program ended in April, only immediately offered the opportunity to research in a new five-year | different support group contr | Performance Computing Infr | program that is investigating | fundamental science. He rea

"I was interested in Japan, its culture, before coming here," says Cossu. "Japan has supercomputers, and the HPCI program means I can continue my post-doctoral work as a theoretical physicist in Lattice QCD using supercomputers like the K computer. Before attempting to explain Lattice QCD, we first need to grasp what quantum chromodynamics is all about.

QCD is a field theory explaining the strong nuclear force: the interaction between quarks and gluons that bind these fundamental particles together, and which in turn keep nucleons intact. Historically, the theory was used to describe ordinary matter: namely, how quarks and neutrons interact. Over time it has evolved and today it is used to describe the interactions that take place during high-energy experiments in accelerators, where we weaken the binding forces enough that the interactions can be analyzed by applying the equations of

「月刊JICFuSムービー」

<http://www.youtube.com/user/monthlyjicfus>

世界最大のシミュレーションでダークマターの正体にせまる

投稿日: 2013年4月1日 作成者: 計算基礎科学連携拠点 広報室

2013.4.8 筑波大学 石山智明 研究員



月刊JICFuS
JICFuSムービー

年間5本制作、現在15号制作中
年間2本制作、現在3号、4号制作中

天文・素粒子連続イベント

天文学会年会の期間中に、開催地の住民と天文学者の交流を図るイベントを開催。5回の参加者総数は、544人。



	開催場所(参加者数)
2011/9/18-20	鹿児島(103人)
2012/3/19-22	京都(156人)
2012/9/19-20	別府(31人)
2013/3/20-23	さいたま(243人)
2013/9/9	仙台(11人)
2014/3/19-22	武蔵境、三鷹(?)

研究会・イベント報告記事

広報が取材、または研究会世話人の報告を記事化してウェブに掲載(2011年5月から)

- 研究会報告 52本
- スクール報告 14本
- イベント報告 19本

メディア関連

- プレスリリース 6件
- テレビ、新聞、ウェブなどへの掲載 37件
- 動画・画像転載など 多数

量子色力学カードゲーム『Quark Card Dealer』

日本語版：約8000人に約10万枚を配布

- 2011/9/4 KEK一般公開(1200人)
- 11/5 理研AICS一般公開(830人)
- 11/19-20 サイエンス・アゴラ(700人)
- 2012/4/22 KEK施設公開(240人)

☆デザインリニューアル

- 9/2 KEK一般公開(1300人)
- 10/2 理研AICS一般公開(1200人)
- 11/18 つくば科学フェスティバル(430人)
- 2013/4/20 RIKEN一般公開(300人)
- 9/8 KEK一般公開(1200人)
- 10/19 理研AICS一般公開(380人)
- 12/1 科学技術館(110人)

英語版：約9000枚を配布

- 2012/11/12-15 SC12(ソルトレイクシティ)
- 2013/11/18-21 SC13(デンバー)



量子色力学カードゲーム『Quark Card Dealer』

QCD特設ページ

<http://www.jicfus.jp/jp/promotion/pr/quark-card-dealer/>

- クォーク・カード・ディーラー
- 量子色力学
- 光の三原色と補色
- 遊び方 マンガになりました！
- 背景設定
- プレイ日時と場所
- 印刷用データ

プレイ用カード (クォークカード、ハドロンカード)

4人プレイ用です。クォークカードの縦一列5枚が1人分の手札です。普通紙への両面印刷と名刺用紙への両面印刷の2種類のファイルを用意しました。お手持ちのプリンターの印刷方式に合わせてご印刷ください。

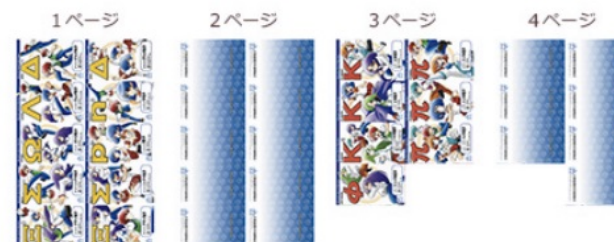
● 普通紙への両面印刷

クォークカード4人分、ハドロンカード1人分です。クォークカード1回に対し、ハドロンカードを4回ご印刷ください。

■ [クォークカード両面 \(長辺閉じ\) 印刷 \(5.7MB\)](#)



■ [ハドロンカード両面 \(長辺閉じ\) 印刷 \(7.1MB\)](#)



ウェブサイト アクセス解析

ユーザー サマリー

2012/01/01 - 2014/02/23

メール エクスポート マイレポートに追加 ショートカット

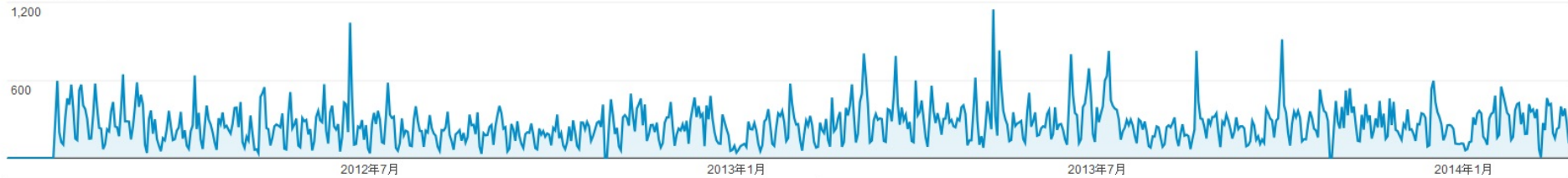
すべての訪問
100.00%

サマリー

ページビュー数 対 指標を選択

時間別 日 週 月

ページビュー数



訪問数
75,039

ユーザー数
43,794

ページビュー数
198,952

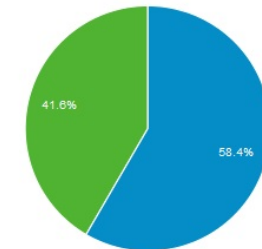
訪問別ページビュー
2.65

訪問時の平均滞在時間
00:02:15

直帰率
57.67%

新規訪問の割合
58.36%

New Visitor Returning Visitor



日本語
英語

約1,510ページビュー／週
約80ページビュー／週

研究活動

学会発表

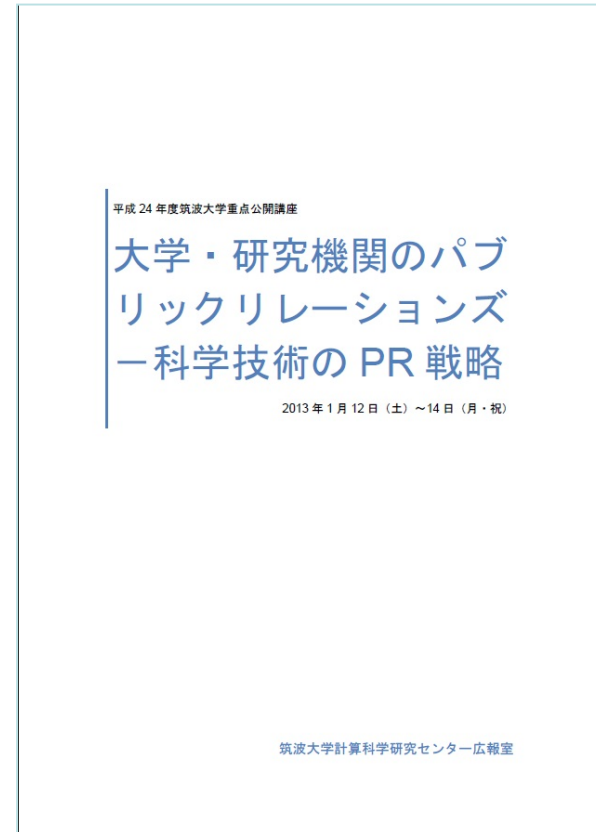
- 吉戸智明, 矢部あずさ, 入江敦子
「多機関連携プロジェクトの科学広報」
日本天文学会2012春
- 矢部あずさ, 吉戸智明, 入江敦子
「科学広報におけるトレーディングカードゲームの活用」
日本天文学会2012秋

2012年度筑波大学重点公開講座

(2013/1/12～14)

「大学・研究機関のパブリック・リレーションズ —科学技術のPR戦略—」

- 受講者数27人、修了証書授与者数24人



講義録(36ページ)
これまでに28人から請求

HPCI広報連携

HPCIの広報連携

理研AICS、戦略5分野、RISTの広報担当者による“ゆるい”連携

- 広報情報交換会
年に2回ほど、全広報担当者を集めて情報交換を行う。
分野5が広報勉強会の名目で集合をかけ、現在の形に。
- 広報責任者会議
メンバーは各機関1～2人。必要に応じて招集される。月～隔月。
成果発表データベース(後述)の仕組みを議論するために設置。

“ゆるい”連携

- 各機関で設立趣旨が違うため、広報協力できる部分は協力する程度で良しとして、ベース部分だけを作っておく

成果発表データベース

HPCIポータル <https://www.hpci-office.jp/hpcidatabase/publications/search.html>

HPCI HOME | 成果の新規登録はこちらから | 表示

すべての期間 ▾

 すべてのHPCI資源 ▾

 すべての言語 ▾

検索したい項目

検索条件に一致する成果発表件数

期間: すべての期間

計算機資源: **すべてのHPCI資源**

言語: すべての言語

*カーソルを移動して色が変わったセルをクリックすると一覧が表示されます

	課題の種類										合計
	「京」 一般利用			「京」以外のHPCI 一般利用		HPCI戦略プログラム					
	一般	若手育成	産業利用	一般	産業利用	分野1...	分野2...	分野3...	分野4...	分野5...	
論文(査読付き)	25	6	2	25	0	5	25	8	18	26	140
論文(査読なし)	7	1	1	6	0	0	1	6	8	2	32
国際会議・シンポジウム	98	14	3	61	0	13	55	41	84	54	423
国内学会・シンポジウム	72	13	20	49	1	15	33	49	87	31	370
研究会等	43	4	13	30	0	9	7	13	20	17	156
一般向け講演会等	6	0	7	3	0	6	0	2	7	5	36
新聞/TV/WEB配信/雑誌等	1	0	37	16	0	1	10	3	1	22	91
書籍	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0	5
プログラム・DB公開	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
特許出願・取得	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	254	39	83	191	1	51	132	124	225	157	1257
	376			192		689					

成果発表データベース

データベース構築の経緯

- 高度情報科学技術研究機構(RIST)が、「京」とHPCI資源による成果を発表するデータベースを構築していた
- 戦略プログラムで行っている「京」とHPCI資源を使わない成果もデータベース化できるよう働きかけ。分野5が提案し、分野2を始めとして全分野が賛同。
- 論文、学会発表だけでなく、雑誌・書籍、映像・画像、マスメディア報道など、HPCIやスパコンに関するあらゆる情報をデータベース化する。

成果発表データベース

HPCIデータベース構築の目的

- ワンストップかつリアルタイムな情報発信
国民の知る権利に応えるため、HPCIに関わる1次情報を集めた統一的なプラットフォームをつくり、可能な限りリアルタイムに（年に1回ではなく）公表していく。
- 広報はこのデータベースを活用してHPCIの全体像をつかみつつ、新たに広報戦略を練り、効果的な広報活動を行っていく。
- 今後のエクサ時代も続けていく。そのために改良を重ねていく（編集機能をつけるなど）。
- 情報発信の2段階組織※の実現に向けたテスト
※「科学者から社会への情報発信のあり方について」日本学術会議（1/31）

来年度(以降)の予定

広報コンテンツの製作、とりまとめ

- 理解増進グッズ第2弾の製作:漸近的自由性(3年越し)
- 『QCD』、天文イベント、月刊JICFuSなどは継続。
- プレスリリースなど発信強化(量、質)
- 最終年度に、月刊JICFuS全25号をまとめた書籍作成?
ムービー全8本を入れたDVDを付録にする??

広報連携、その他

- 成果発表データベースをより使いやすく、活用しやすく
- 広報の評価方法(これも3年越し)